

立民

賛成

○全ての会計予算に賛成

▽我が国は、少子高齢社会の進展により生産年齢人口が減少する中で、所得格差の拡大や貧富の差の固定化が大きな社会問題となり、また特に昨年から急速に物価高騰・インフレが進展し、市民生活を直撃しています。▽令和5年度予算は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を図りつつ、未来へつなげる持続可能な行財政運営を目指したとのことで、その方向性は率直に評価いたします。▽予算総額および一般会計予算額はともに2年連続して増加し、過去最大の予算規模となったことは、地域経済活性化や物価高騰対策、子育て支援策などに重点的に予算を配分したことが大きな理由であると認識しています。本市は、着実に人口が増加してきており、「選ばれるまち海老名」としてかなりの評価を転入者からいただいていることは、喜ばしいことです。▽一方で、市民一人一人の多様な生き方や価値観を尊重し、安心して暮らすことのできる社会環境の整備、行政として果たすべき住民本位のまちづくりについては、今後も継続した中長期的な取り組みが求められます。▽行政自体も率先して働き方改革を推進し、業務の負担軽減と多様な働き方を認める組織運営に努めながら、ICTの活用やDXの推進などを手段として、行政の運営コストを抑制しながらも、質の高い住民サービスを展開していく必要があると考えます。▽今後も公共施設などの改修や更新に必要な財源確保に取り組みながら、中長期的な視点に立つて義務的経費についても見直しを進めるなど、健全で持続可能な財政運営に努めていただき、誰もが安心して生活できる環境整備などの社会保障の充実をさらに進めていくことを要望します。



海老名駅から相模川を望む

市政に関する一般質問の概要

3月13日、14日、15日に議員15名が市の考えをたしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。

今回は、新年度の施策に関する事項など36項目の一般質問がありました。詳しい内容は会議録でご確認ください。

会議録は市役所1階の情報公開コーナー、中央図書館・有馬図書館でご覧いただけるほか、インターネット上で公開しています。



<会議録の閲覧検索> 市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」

また、一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネットで録画配信しています（これは海老名市議会の公式記録ではありません）。

<本会議の録画配信> 市のホームページから「本会議中継」→「本会議ライブ中継」、「委員会中継」もご覧いただけます。



一般質問の録画配信はこちらから▶



市街化区域の拡大について

政進会 森下 賢人

問 本市の人口は、自然減を大幅に上回る社会増によって令和4年中に約2千人増加し、あと数カ月で14万人に達するとのことです。第7回線引き見直しで一般保留区域に設定した市役所周辺地区の市街化区域編入への取り組みは理解できるところであり、さらなる発展には居住のための区域の拡大も必要だと考えます。そこで、第8回線引き見直しに向けた現状と今後の取り組みについて伺います。

答（市長） 今後10年間の取り組みが本市の発展を左右していくことから、第8回線引き見直しにおいて新たな住宅地や産業用地の確保、都市基盤の整備など積極的なまちづくりを展開するよう担当に指示しています。

答（理事兼まちづくり部長） 昨年末に県から基本的な基準やスケジュールが示されました。本市は引き続き人口増加が見込まれていることから、その受け皿となる住宅用地の確保などに向けて検討を進めており、市の都市マスタープランで市街化区域編入の検討地に位置付けている地区の地権者の皆さまに意向調査を実施したところです。

問 聞こえてくる話からは、かなり多くの地権者が意向調査によって対象地が市街化区域になると感じているように思えますが、この意向調査について伺います。

答（理事兼まちづくり部長） 市街化区域への編入候補地の選定に当たっては、地権者の皆さまの意向が非常に重要となるため、調査したものです。皆さまの意向を踏まえるとともに県や市の都市計画と照らし合わせるなど、総合的な観点から候補地を選定しますが、調査した地区全てが市街化区域に編入されるものではないことをご理解いただければと思います。

その他の質問

・（仮称）上郷河原口線について